

**2008年度E&S研究会セミナー**  
**～ スクリーン印刷のフレキシブルエレクトロニクスへの応用 ～**

スクリーン印刷は、さまざまな基材に機能性材料を印刷可能な技術であることから、古くから電子デバイスの製造技術の重要な役割を担ってきている。

本セミナーでは、引き続き革新が続くフレキシブルエレクトロニクスに焦点をあて、その全体像から具体的な応用例まで、第一線でご活躍中の講師の方々にご講演をお願いしました。「スクリーン印刷方式だからこぞできることは何か」、「スクリーン印刷技術の中で何が技術課題なのか」ということを感じ取っていただけの講演内容になっております。

スクリーン印刷用の素材を扱う方にも、スクリーン印刷技術を活用しようとしている方にも、貴重な知見を与える場になると思います。皆様のご参加をお待ちしております。

**主 催：**（社）日本印刷学会 技術委員会 E&S研究会

**協 賛：**（社）エレクトロニクス実装学会、全日本スクリーン印刷協同組合連合会、東京スクリーン印刷産業協同組合、日本スクリーン印刷資機材工業会、（社）色材協会、（社）日本写真学会、日本画像学会、（社）高分子学会

**日 時：**平成20年11月14日（金）午後1時～5時

**会 場：**日本印刷会館2階会議室 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8

（地下鉄有楽町線・新富町駅5番出口より徒歩3分、地下鉄日比谷線・JR京葉線・八丁堀駅A3番出口より徒歩5分）

**プログラム**

13:10～14:20

1 スクリーン印刷によるプリンタブルエレクトロニクスの実用化

DKN Research LLC 沼倉研史

画期的な技術として様々な分野での応用が検討されているプリンタブルエレクトロニクスについて、その実用化においてスクリーン印刷が果たす役割と、最近の技術開発の動向について、具体的な例を取り上げて紹介する。

14:20～15:10

2 フレキシブル色素増感太陽電池電極の作製 ペクセル・テクノロジーズ（株） 瓦家正英

次世代太陽電池として期待されている色素増感太陽電池は、基板にプラスチック（PETなど）を使ったフレキシブルタイプもあるが、バインダー（添加剤）フリーナノTiO<sub>2</sub>ペーストを用いて低温焼成により強靱なメソポーラスTiO<sub>2</sub>膜を作製しなければならない。それらを実現するためのペースト作製基礎概念と塗布方法について述べる。

15:10～15:25 休憩

15:25～16:35

3 スクリーン印刷の得意な工法とその適用方法 ファインライン手刷り実演付き

(株)エスピーソリューション 代表取締役 佐野 康

10月6日の印刷学会P&Iシンポジウムでの講演「スクリーン印刷エレクトロニクス応用の現状2008」の続編として、その適用方法について言及する。25ミクロンファインライン積層印刷やフィルム基板での穴埋め技術などについても具体的に解説し、スクリーン印刷のプロセス技術としての優位性を示す。

**定 員：**100名

**参加費：**会員、賛助会社および協賛団体所属員 5,000円、学生1,000円、会員外8,000円（いずれもテキスト代を含む） 当日会場受付でお支払い下さい。

**申込先：**（社）日本印刷学会 技術委員会 E&S研究会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館

電話：03-3551-1808 FAX：03-3552-7206 E-mail：nijspst-h@attglobal.net

申込方法：聴講者氏名、所属、連絡先、会員の有無を明記して、E-mailまたはFAXでお申し込みください。